



16. 八幡社 ↓

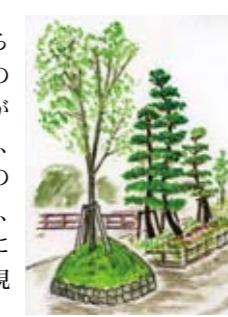
創建は鎌倉時代末期(1318年)。本殿(外からは見えない)は江戸時代初期の建立と伝えられる。菊水觀音出現の伝説がある。

↑ 18. 外川神社

せんにんさまの名で親しまれ子供の虫封じに効き目があるといわれた。ご神木のケヤキが見事である。祭神は日本武尊。

17. 復元した一里塚と松並木 ↓

平成17年12月、横浜市の事業である第1回「ヨコハマ市民まち普請事業」に選ばれ、平成19年2月、一里塚と松並木が復元した。場所の制約から十分な大きさの塚を築くことができなかつたが、塚の上には昔のように樅を植え、松並木とともに宿場時代の再現に努めた。



← 7. 天徳院

開山は安土桃山時代(1573年)。本尊は運慶作といわれる地蔵菩薩坐像。土地の豪族、小野筑後守が帰依して建立した。曹洞宗。



8. 大蓮寺 →

開山は江戸時代初期(1625年)。日蓮上人が泊まった家を法華堂に改修したのが寺の始まりとのこと。家康の側室おまんの方お手植えのざくろの木がある。日蓮宗。



← 9. 遍照寺

開山の年代は不詳(876年開山とも伝えられる)。本尊の薬師如来像は横浜市指定文化財。財・福百万遍の供養塔や、岡野新田を開拓した岡野家の墓所がある。真言宗。



10. 金沢横町の石碑 (道標) →

金沢や鎌倉への分岐点。角に道案内の石碑が4基並んでいる。その中に「程ヶ谷の枝道曲がれ梅の花」と杉田梅林への道を示す俳句を詠んだ碑がある。



↑ 15. 大仙寺

開山は平安時代中期(970年)といわれ区内で最も古い寺の一つ。本陣をつとめた輕部家の菩提寺であり、旧東海道からは山門をくぐり参道が続いていた。真言宗。



13. 保土ヶ谷本陣跡→

宿場の中でも立派な建物である本陣は、代々軻部家がつとめた。現在は当時を偲ばせる門や土蔵が残っている。明治3年(1870)に軻部に改姓し、現在も在住されている。

← 14. 旅籠本金子屋跡

格子戸や通用門が当時の旅籠の雰囲気を伝えている。現在の建物は明治2年(1869)の建築。



← 4. 神明社

創建は平安時代中期(970年)。当地は伊勢神宮の御領地として寄進され様谷御厨と呼ばれ、その鎮守として神明社が建立された。祭神は天照大御神。



5. 香象院→

開山の年代は不詳。保土ヶ谷宿で最大の寺子屋があり、明治6年(1873)に保土ヶ谷小学校の分校となった。保土ヶ谷郷土史家・磯貝正氏の功績を称えた碑がある。真言宗。



← 6. 見光寺

開山は江戸時代初期(1629年)。保土ヶ谷の住人で熱心な浄土宗の信者、茂平夫妻が建てた。保土ヶ谷出身のコラムニスト青木彌彦氏の句碑がある。



1. 追分

旧東海道と旧八王子道との分岐点であると同時に、旧東海道の新町通と古町通の分岐点でもあった。(絵地図の右上)



← 2. 橋樹神社

創建は鎌倉時代初期(1186年)。江戸時代は牛頭天王社といい天王町の由来である。大正時代に現在の橋樹神社となり、祭神は素盞鳴尊。本殿の裏手には横浜市内最古といわれる寛文9年(1669)の銘が刻まれた青面金剛庚申塔がある。

← 3. 帷子橋跡モニュメント

昭和39年(1964)の帷子川の河川改修以前は、今の天王町駅前公園に旧帷子橋が架かっていた。



一四. 杉山社

創建年代は不詳だが、市内に数多くある同名社と同じく古社と思われる。祭神は南朝五祖命。境内の石灯籠には「伊勢大神宮」と銘が刻まれた「怪力石灯籠」の伝説がある。



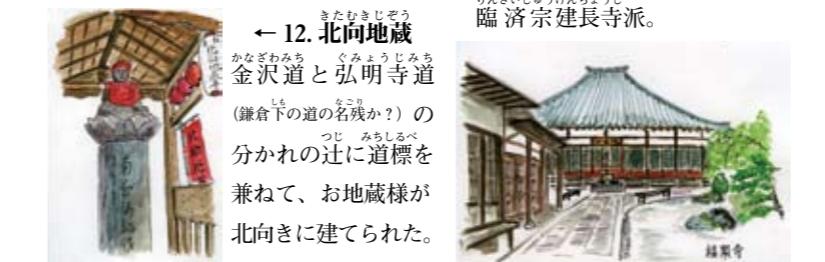
三. 安樂寺 →

開山は天文年間。本尊は阿弥陀如来。当時、境内にあった八幡社の泉から出現したと伝えられる涌水観音像が本堂内に安置されている。真言宗。



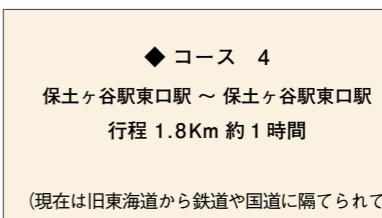
一. 圓福寺 ↓

開山は南北朝時代(1335年)。本尊は釈迦如来。十返舎一九の弟子、五返舎半九の墓がある。



← 12. 北向地蔵

金沢道と弘明寺道(鎌倉への道の名残?)の分かれの辻に道標を兼ねて、お地蔵様が北向きに建てられた。



◆ コース 4

行程 1.8Km 約1時間

(現在は旧東海道から鉄道や国道に隔てられているが、いづれも旧宿場内の社寺である)